

# Audio Fader ++ スクリプト 機能別ガイド

このガイドは、「Audio Fader ++」スクリプトの主要な機能を、初めて使う方にも分かりやすく、一つひとつ丁寧に解説することを目的としています。このスクリプトは、After Effectsなどでのオーディオ調整作業を、より効率的かつ直感的に行うための強力なツールです。

このガイドでは、以下の4つの主要機能について解説します。

- 全体音量: レイヤーの基本となる音量を素早く設定します。
- フェード設定: 自然な音の出入り(フェードイン・アウト)を簡単に追加します。
- 選択補助: たくさんのレイヤーから目的のものを素早く選び出します。
- プリセット: よく使うフェード設定を保存し、いつでも呼び出せます。

---

## 1. はじめに: スクリプト実行前の必須準備

警告: この準備を怠ると、スクリプトが正しく動作しません。必ず以下の手順を確認してください。

スクリプトの機能を使う前に、After Effects上で必ず行わなければならない準備が2つあります。

1. コンポジションの選択 操作したいレイヤーが含まれているコンポジションを、プロジェクトパネルやタイムラインパネルでアクティブ(選択状態)にしておく必要があります。これを行わないと、以下のメッセージが表示されます。
2. オーディオレイヤーの選択 音量を調整したいオーディオレイヤー(またはオーディオを含むレイヤー)を、タイムライン上で1つ以上選択しておく必要があります。レイヤーが何も選択されていない場合、以下のメッセージが表示されます。

準備が整ったら、早速スクリプトの機能を見ていきましょう。

---

## 2. 全体音量 (Overall Volume) - レイヤーの基本音量を決める

この機能は、選択したオーディオレイヤー全体の音量を、スライダーやボタンで素早く設定するためのものです。

重要な注意点: この機能で音量を設定すると、既存のオーディオキーフレームはすべてクリアされ、現在の時間インジケーターの位置に単一のキーフレームが設定されます。

操作方法は非常にシンプルで、2種類の方法が用意されています。

操作部品	できること

スライダー	-48 dBから12 dBの範囲で、音量を直感的に微調整できます。現在の値は隣のテキストにリアルタイムで表示されます。
クイックボタン	よく使う 0 dB, -6 dB, -12 dB の音量をワンクリックで設定できます。

基本的な音量が決まったら、次は音の入りと終わりに滑らかな変化をつけてみましょう。

### 3. フェード設定(滑らか) - 自然な音の出入りを演出する

この機能は、選択したレイヤーの開始点(インポイント)と終了点(アウトポイント)に、滑らかなフェードインやフェードアウトを簡単に追加するための機能です。

ポイント: フェードの音量のピーク(一番大きな音)は、「全体音量」パネルのスライダーで設定した値と自動で連動します。これにより、全体の音量感とフェード感を簡単に統一できます。

#### 使い方の手順

1. **フェードイン / フェードアウト** のチェックボックスで、適用したいフェードを選択します(両方選択も可能です)。
2. 秒数入力欄に、フェードさせたい時間(秒数)を入力します(例: 1.0)。
3. **適用** ボタンをクリックします。選択中のレイヤーに、イージーーズ(滑らかな変化)のかかったオーディオキーフレームが自動で設定されます。これにより、機械的な音の変化ではなく、より自然で聞き心地の良いフェードが実現します。

技術的には、適用ボタンを押すと、フェードインの場合はレイヤーの開始点で音量が-96dBに、指定秒数後に「全体音量」で設定したピーク音量になるキーフレームが作成されます。フェードアウトも同様に-96dBまで滑らかに変化します。

#### 注意点

適用ボタンを押した際に、設定に不備があるとアラートが表示されます。

- チェックボックスが両方**OFF**の場合 **フェードイン**と**フェードアウト**のチェックが両方とも外れていると、「適用したいフェードのチェックボックスをONにしてください。」と表示されます。
- 秒数入力欄が正しくない場合 秒数入力欄が空だったり、数字以外の文字が入っていたりすると、「有効な数値を秒数で入力してください。」と表示されます。

複数のレイヤーに同じ設定を適用したい場合、次の「選択補助」機能が役立ちます。

## 4. 選択補助 (Selection Helpers) - 目的のレイヤーを素早く選ぶ

この機能は、たくさんのレイヤーの中から、特定の条件に合うオーディオレイヤーだけを効率的に選択するための補助機能です。

基本ルール: このパネルのボタンは、**Shift**キーを押しながらクリックすると、通常の動作(追加↔置き換え)が反転します。

### 4.1. 名前で選択 (Name contains)

テキストフィールドに入力した文字を名前に含むレイヤーを選択します。

操作方法	動作
通常クリック	テキストフィールドに入力した文字を名前に含むレイヤーを、現在の選択に追加します。
<b>Shift +</b> クリック	現在の選択を解除し、条件に合うレイヤーだけを新しく選択します(置き換え)。

### 4.2. 同じラベル色を選択

あらかじめ選択しておいたレイヤーと同じラベルカラーを持つレイヤーをすべて選択します。

前提条件: この機能を使用するには、まず基準となるレイヤーを1つ選択しておく必要があります。

操作方法	動作
通常クリック	現在の選択を解除し、基準レイヤーと同じラベル色のレイヤーをすべて新しく選択します(置き換え)。
<b>Shift +</b> クリック	基準レイヤーと同じラベル色のレイヤーを、現在の選択に追加します。

- 注意: 複数のレイヤーを選択している状態で、それらのラベル色が異なる場合、先頭のレイヤーの色を基準に検索してよいか確認するメッセージが表示されます。

よく使うフェード設定があるなら、毎回入力する手間を「プリセット」機能で省きましょう。

---

## 5. プリセット (Presets) - お気に入りの設定を保存・再利用

この機能は、「フェード設定」パネルの状態(チェックのON/OFFや秒数)を名前を付けて保存し、いつでも呼び出せるようにする機能です。

- **Save Preset:** 現在のフェード設定を保存します。ボタンを押すと、プリセット名を入力するためのダイアログが表示されます。
  - **Load Preset:** 保存したプリセットを名前で呼び出します。ボタンを押すと、読み込むプリセット名を入力するためのダイアログが表示され、選択した設定がパネルに反映されます。
- 

## 6. その他の便利な機能

主要な4機能以外にも、便利なボタンが用意されています。

- オーディオキーフレームをクリア(0dBに) このボタンを押すと、選択したレイヤーのオーディオキーフレームをすべて削除し、音量をフラットな0 dBにリセットします。フェード設定などを一括で取り消したい場合に便利です。